

三重県教育委員会

みどり祭 応援隊

三重西小学校 2年2組 杉本 結芽

植木神社の
祇園祭



大淀の
祇園祭



わたしはこの夏休みにみえ協力隊に
えらばれました。

こんなうれしいことをあたしだけでなく
みんなにしてもらいたくて協力隊の
ことをは、ひょうします。

協力隊のせつめいを聞くのにはじめて
三重県庁に行きました。

先生たちもなかなか入れないへやで
せつめいを聞くことができて本当に
びっくりとうれしい気持ちでした。

伊奈富神社の
獅子神楽



わたしがすんでいる三重県にはたくさんのお祭があることをいしました。

それにいろいろなお祭のしゅるいがあることにびっくりしました。

東日野西日野の
大念仏



ざんねんですが、わたしがしゅざいする祭は台風で中止になりましたが、ほかの祭+協力隊はしゅざいやさんかができたのでわかりやすくみんなの前ではっぴょうしてくれました。

わたしはしゅざいするよていだったかんこおどりをえいぞうで見て聞きたいことやかんそうをみんなにはっぴょうしました。

猫師の
かんこ踊



旗師のかんこおどり

令和五年度

みえ祭
協力隊

まいとし
8/13~8/15のき
かんにおこな
われるおまつり



しらべたいと思ったきっかけ

じぶんが知らないまつりがたくさんあり、昔からつづいている、みんな
でさんかするまつりをしりみんなに
つたえたいと思ったから。

いつごろからはじまったのか？
伝承 1584年ごろからはじまった
と言われています。

なぜこのまつりをするようになったのか？
もともとは亡くなった人とさかなのくよ
うのためにはじまったとされています。



😊 ぜんぶで何人ぐらいで
まわっているの？

せいなん
ほぞん会と青年だんで計
60名以上はいると思います。



😊 ^{かお}顔にまく白いぬのや豆頭にっ
けているかざりにはどん
ない味があるのですか？

^{かお}彦貞にまいているカソムリ
と言いますがおどりこの
^{せいらい}自我をけして精霊にな
りきるためと言われてい
ます。豆頭にかぶる「シャゴマ」
みにつける法被もそのた
めと思おれます。

😊 ^{のうこん}どんなか、^{はっぴ}こうでおどるの？
^{濃紺}濃紺の法被をきて、
豆頭に「シャゴマ」とよはれ
る花笠をかぶり「かんこ」と
よはれる太こをかけて
おどります。



・三重県の主な「お祭」①

やま ほこ や たい
・山・鉾・屋台行事

いしどり くじらぶね ぎ おん
石取祭・鯨船行事・祇園祭・ダンジリ行事 等



・三重県の主な「お祭」②

し し まい
・獅子舞

し し かぐら おかしら だいかぐら
獅子神楽・御頭神事・大神楽・獅子舞 等



・三重県の主な「お祭」③

・かんこ踊り^{おど}

^{かんこ}羯鼓踊り・かんこ・かつこ踊り・神事踊り 等



松ヶ崎のかんこ踊り（松阪市）

・三重県の主な「お祭」④

・その他

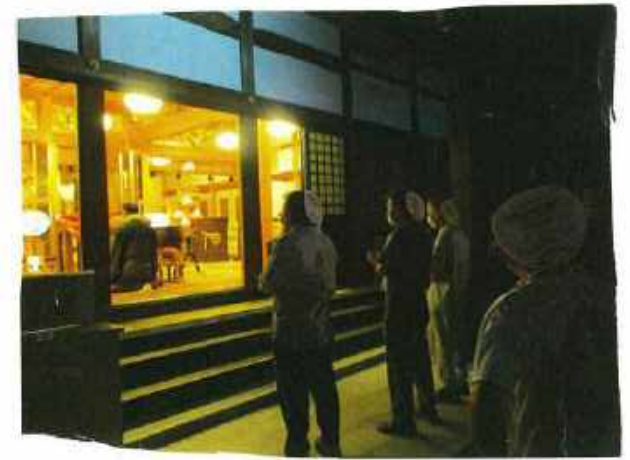
^{にんぎょうしばい}人形芝居・^{お た うえ}御田植祭・^{だいねんぶつ}大念仏・^{やぶさめ}流鏝馬 等



磯部の御神田（志摩市）



ま と め



これからのかだい

思ったこと

🍷 おかげさまで年々おどってくれる★ 町の人 がみんなでかんしゃ

子どもたちはふえていってぎやくに
おどる場所がないのがもんだいにな
なるほどです。一定の年れいになっ
たら青年団に入れるので、青年
団もどんどんふえていっています。

人と人のつながりをはっきり
きるカブよいまつりでした。

😊 人の思いやり、人のつながりがとても
分かるおまつりでした。みんなが
天国にいけるように一生けんめい
町の人がおこなうとてもよい
おまつりでした。

🍷 私はまつりと言えは花火大会や出店
をイメージしていましたが、かんこ
おどりをし体当のまつりのいみをし
りました。にぎやかではないか
もしれませんが人が大切に思う気
もちをしらせるとてもかんど
うするおまつりです。

祭を見ている方に

かんしゃの気持ちをもって子どもたちも楽しくさんかしています。
見ている方もかんしゃの気持ちを矢口って見てほしいです。



一つ一つの祭にはいいみがあることも矢口ってほしいです。
大学の先生や大学生や委員会みなさんが色いろ教えてくれて
とても楽しくさんかできました。

わたしはしゃざいやさんかができなかつたので2回目も
チャレンジします。せうたいに。。

みなさんも出店や花火大会や大きな祭だけではなく
色んな祭を見て楽しんでください。

たくさんの人につたわりますように。

かんそう

おぼん休みが大切な日だとわかりました。

なくなった人を天国に行けるようにとせんに「ここだよ」
ってわかるようにまつりを行っています。

小さい時はうれしい休みだと思っていましたが、
かんこおどりを知って「大切な休みなんだ」と思いました。

わたしもこれから亡くなられた方にかんしゃを今まで
いじょうにしたいなと思いました。

ワークショップでは みんなの協力ではっぴょう
できました。

ありがとうの気持ちでいはいです。



令和五年度
みえ祭
協力隊

